

全国共通避難所・避難場所ID(共通ID)について

共通ID は、以下の表のとおり、識別コード、自治体コード、施設コード、種別コード、種別連番コードにより構成され、14桁となります。全国の指定避難所及び指定緊急避難場所を個別に特定するものです。

	識別コード	自治体コード	施設コード	種別コード		種別連番コード
				大分類	小分類	
説明	共通IDの頭文字は「E」を固定値とする。	自治体コードを使用(5桁)	各市区町村における通し番号5桁を記載。住所ごとに個別の施設コードを付番。	施設の種別を識別する。 1.指定避難所 2.指定緊急避難場所	大分類が指定避難所の場合 1：一般避難所の場合 2：福祉避難所の場合 大分類が指定緊急避難場所の場合は0とする。	同住所内に存在する同一種別の施設数を表す番号。 1から開始し、それ以降2～9まで使用。その後は、A～Zに続き、Zの次は、a～zを使用。
共通ID付番例	E固定値	東京都千代田区	合同庁舎第8号館	指定一般避難所		1施設のみ
	E	13101	00001	1	1	1

※共通IDは、避難所等ポータルサイト（国土地理院）で自動採番等の管理がされます。